

平成23年4月18日

東日本大震災NPO支援活動について

全国老人給食協力会
事務局長 平野 覚治

4月15・16日と宮城県と福島県を訪問しました。

この度の訪問は、

1. 仙台の食ネットの会合に参加
2. 企業の社会貢献担当者の方と現地の食事サービス活動団体とのコーディネーション
3. ささえ愛「ふらっと」（福島県伊達郡桑折町）への訪問

この度は、清水洋行さん（全国老人給食協力会運営委員）と6時半に成城学園前で待ち合わせて自家用車にて出発。10時からの食ネットの会合に間に合うように北上する。迷子になりながらも会場に11時20分頃に到着。参加団体は清水さん（あかねグループ）、市橋さん・高橋さん（ふたばの会）、菅原さん（けやきグループ）、寺島さん・高田さん（ほっと亭）、星野さん（ぽけっとはうす）の皆さんで、震災当時や近況などについての情報交換をしていました。この場で活動団体が何を必要とされているのかについてもお伺いさせていただきました。



会議終了後に、仙台市太白区にある星野さんの拠点（ぽっけの森・就労就業支援B型）を訪問しました。きれいな施設で、お菓子の甘い香りが漂う作業所の横にある喫茶スペースにて情報交換をしました。



星野さんご夫妻（キャプテン・ミッフィ）後ろはクッキー工房

次に「あかねグループ」（仙台市若林区）を訪問し、企業の社会貢献担当の方に現地までお出かけいただき、震災以降の団体の現状と必要なニーズに基づく支援をお願いさせていただきました。お忙しい中、お出かけいただき誠にありがとうございました。



炊き出し風景



夕方には、藤田佐和子さん（東日本大震災復興NPO支援全国プロジェクト・コーディネーター）と情報交換のために打ち合わせを行いました。宿泊は前回同様にアパホテルに泊まる。この度は暖房とお湯が使えるようになっていました。

翌16日（土）に仙台のキリンビール工場付近経由で福島まで移動する。



ささえ愛「ふらっと」（福島県伊達郡桑折町）に迷いながらも11時頃に到着。代表の室井さんからは事前に会食会がひらかれること聞いていたのでとても楽しみにしていました。





ふらっとのお弁当は毎食お手紙が添えられています。ちなみにこの写真は、小学校5年生の時から高校2年生の現在まで書き続けている方からのお手紙です。他にも心優しき方々からのお手紙を見せていただきました。



お食事はお吸い物、和菓子のデザートもついていました。ふきのとうなど春野菜の天ぷらでお花見気分のお弁当です。



久しぶりの会食会とのことで、皆さんとても楽しげでした。話題の中に余震や原発が近隣住民に与える影響がとても強いことをあらためて感じました。その中でさえ、ボランティアのリーダーとしての室井さんの力強さ、また角田さんの優しい話術により、みんなで大笑いするとともに勇気や元気を私まで頂きました。会食会の最後にみんなで楽しく歌いました。この日はスタッフのお知り合いの方からの差し入れの「どらやき」がおみやげとして配られました。添えられているお手紙には、東京で使っている電力を供給している福島の方が原発の事故によってとても心苦しい状況におかれていることに対して申し訳ないとの思いが寄せられていました。

福島では最近も大きな余震があり、原発の問題も含めて3月11日以降も被害が広がっているとのことで、当会としては引き続き連絡を取り合う必要があることを実感しました。



お揃いのエプロン。